

「材料技術」と「製膜技術」を結集し、 産業・社会の期待に応える新たな“機能”を

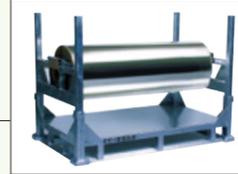
有機化学合成や組成設計など、独自の高性能材料を生み出す「材料技術」と、塗布や蒸着など、幅広い手法で微細な薄膜を加工する「製膜技術」。蓄積してきたコア技術を活かして、保護、遮熱、遮水、偏光、発光など、産業・社会で求められる機能を備えた高付加価値な材料を生み出し、新しい時代の豊かな社会づくりに貢献していきます。

For Displays

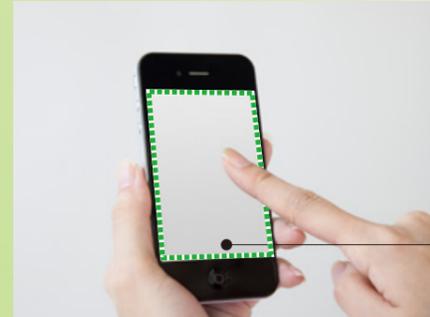


テレビやパソコン、スマートフォンなどに幅広く利用されている液晶ディスプレイ。その偏光板を保護する「TACフィルム」、視野角拡大機能を付与した「VA-TACフィルム」を提案しています。さらに高付加価値製品の提案により、広く各種ディスプレイの進化に貢献していきます。

液晶偏光板用TACフィルム
視野角拡大用VA-TACフィルム



For Mobile Displays



スマートフォン、タブレットPCなどの次世代型モバイルディスプレイには、軽くて薄く、割れないプラスチック基板を用いたフレキシブルデバイスが求められています。高いバリア特性と柔軟性を兼ね備えた「ハイバリアフィルム」は、フレキシブルデバイスの高品質化に貢献します。

バリアフィルム



For Energy

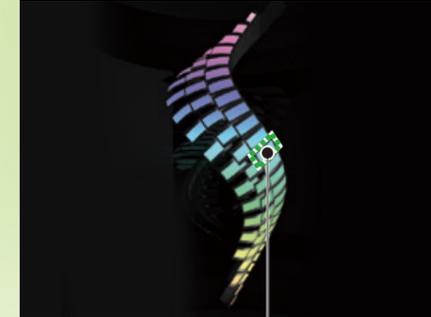


再生可能エネルギーの一つとして注目される集光型太陽熱発電は、多数の鏡で反射・集中した太陽光を熱源とする発電システムです。コニカミノルタは、培ってきた高度な材料技術を駆使して、高い反射性能と優れた耐久性を持つ「フィルムミラー」を開発。今後は事業化を加速し、太陽熱発電の普及と発展に貢献していきます。

フィルムミラー



For Lighting



電流を流すことで発光する有機材料を利用した「有機EL照明」は、面全体で均一に光る新たな光源としての特徴に加え、消費エネルギーが少なく、水銀を使用しないなどの環境特性から、次世代照明として期待されています。コニカミノルタは、2014年に世界最高の発光効率139lm/Wを達成した白色有機EL照明パネルを発表するなど、先駆的な開発成果を生み出しています。また、2014年秋には、ロール・ツー・ロール方式を導入した、白色および調色機能付の樹脂基板フレキシブル有機EL照明パネルの量産工場を世界で初めて稼働するなど、独自の技術力を遺憾なく発揮して有機EL照明の事業化を加速しています。

有機EL照明

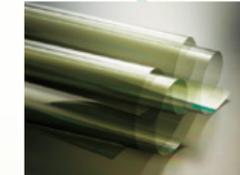


For Building



建築用窓ガラス（室内側）に貼り付ける「機能性ウィンドウフィルム」として、遮熱、遮熱+防汚、防汚、飛散防止の4タイプをラインアップ。優れた遮熱性により、室内での冷暖房の使用を抑えることで、大きな省エネ効果をもたらします。

機能性ウィンドウフィルム



For Automobiles



絶対的な安全性が求められる自動車用ガラス（車内側）向けにも「ウィンドウフィルム」を提供しています。高い赤外線反射率により車内の高温化を防ぐとともに、優れた電磁波透過性によりETCなどの車載通信端末の機能を妨げません。

※各国法律により、ガラスに貼れるフィルムの範囲・内容が異なります。

Core Technologies

材料合成技術

材料設計技術

製膜・コーティング技術